

2-1-2. 上田市街地循環バス実証運行の評価（報告書 p 4）

《利用者数》

- 22 年度年間利用者数約 26,000 人であり最終目標値 30,000 人にはまだ届かない。また、旧運行時の年間利用者数約 27,000 人には至ってはいない。
- しかし、平成 22 年度は年間 26,031 人（前年比+2,580 人）であり、利用者数は増加傾向であるといえる。

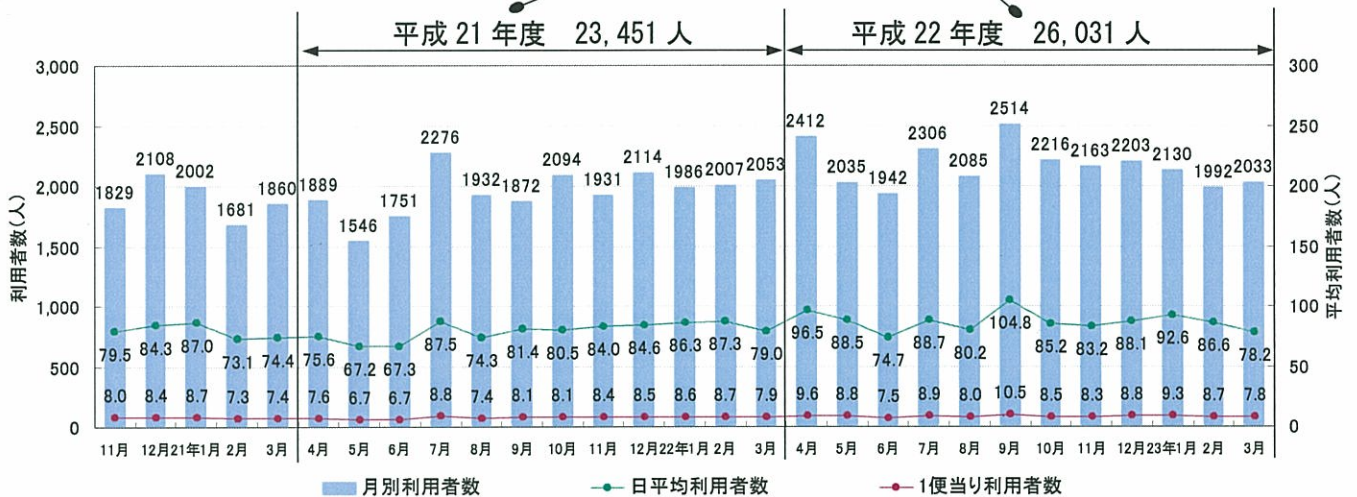
《満足度》

- 実証運行開始年度（平成 20 年度）は約 40%、21 年度は約 40%、22 年度は約 50%と向上を見せている。

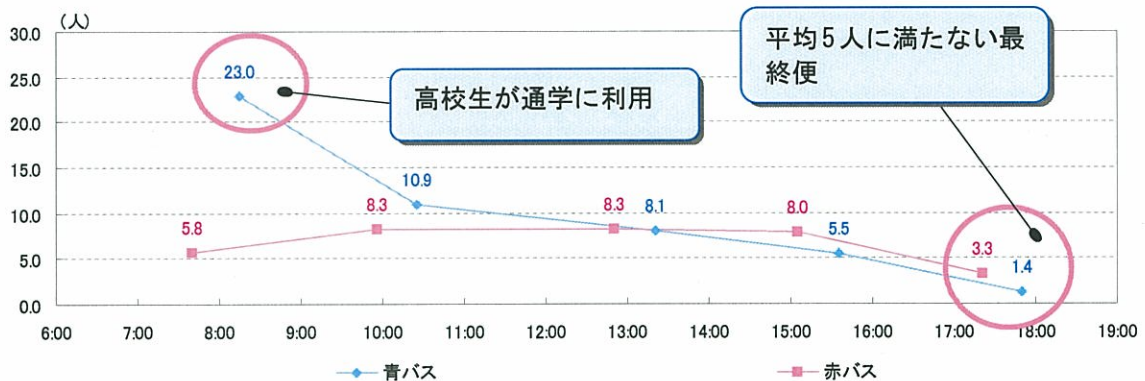
年間利用者数	平成 19 年度 約 27,000 人	①平成 22 年度 約 26,000 人	②最終目標値 30,000 人	増減 (①-②) -4,000 人
期間利用者数	平成 21 年度 23,451 人	平成 22 年度 26,031 人	増減 +2,580 人	
満足度	平成 20 年度 40%	平成 21 年度 40%	平成 22 年度 50%	

《実証運行期間中の利用者数推移》

平成 21 年度と比較し、22 年度の方が約 2,500 人増加した。



《便別利用者数》



※ 交通事業者による利用者数調査より

2-2-3. 丸子地域循環バス実証運行の評価（報告書 p18）

《利用者数》

- 22年度年間利用者数約8,500人は最終目標値13,000人にはまだ届かない。また、旧運行時の年間利用者数は約8,900人には至っていない。
- 1便増便した平成22年度は8,541人であり、見直し前の平成21年度（1月～3月は増便済み）より約1,200人増加している、よって、増便の効果もあり、利用者数は増加傾向である。

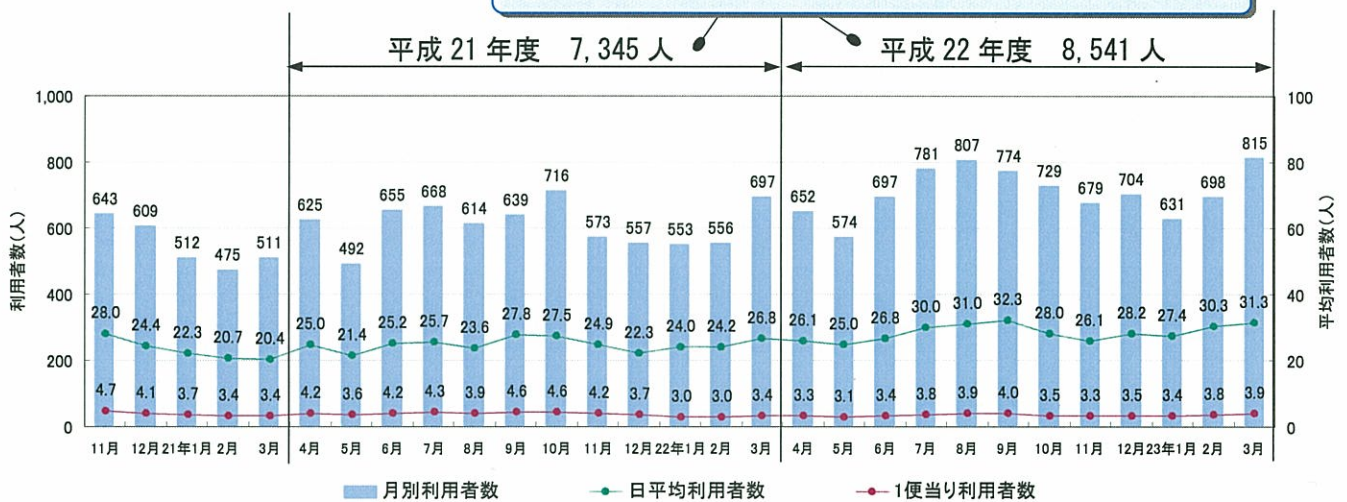
《満足度》

- 実証運行開始年度（平成20年度）は約30%、21年度は約55%、22年度は約60%と向上を見せている。

年間利用者数	平成19年度	①平成22年度	②最終目標値	増減（①－②）
	約8,900人	約8,500人	13,000人	-4,500人
期間利用者数	平成21年度		平成22年度	増減
	7,345人		8,541人	+1,196人
満足度	平成20年度		平成21年度	平成22年度
	30%		55%	60%

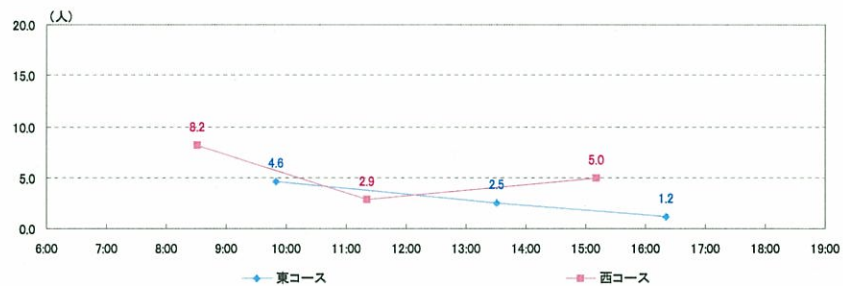
《実証運行期間中の利用者数推移》

平成21年度と比較し、22年度の方が約1,200人増加した。

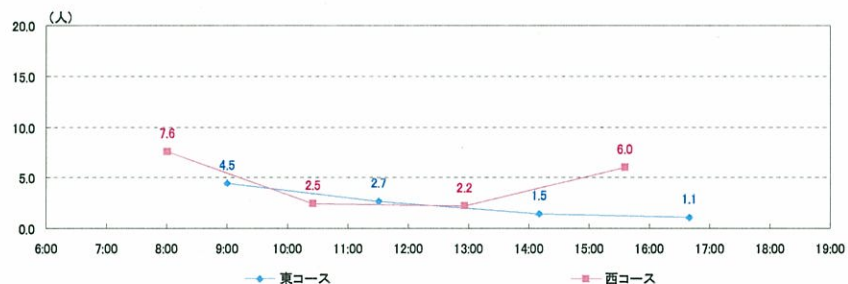


《便別利用者数》

◆見直し前のデータ



◆見直し後のデータ



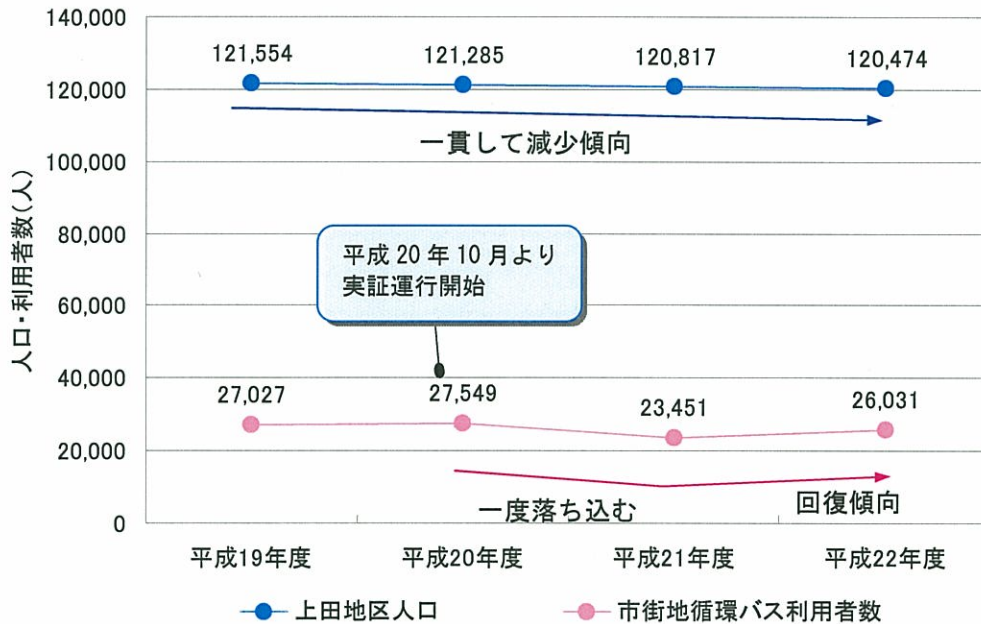
※ 交通事業者による利用者数調査より

《参考資料》

■人口動態と循環バス利用者数動態の比較

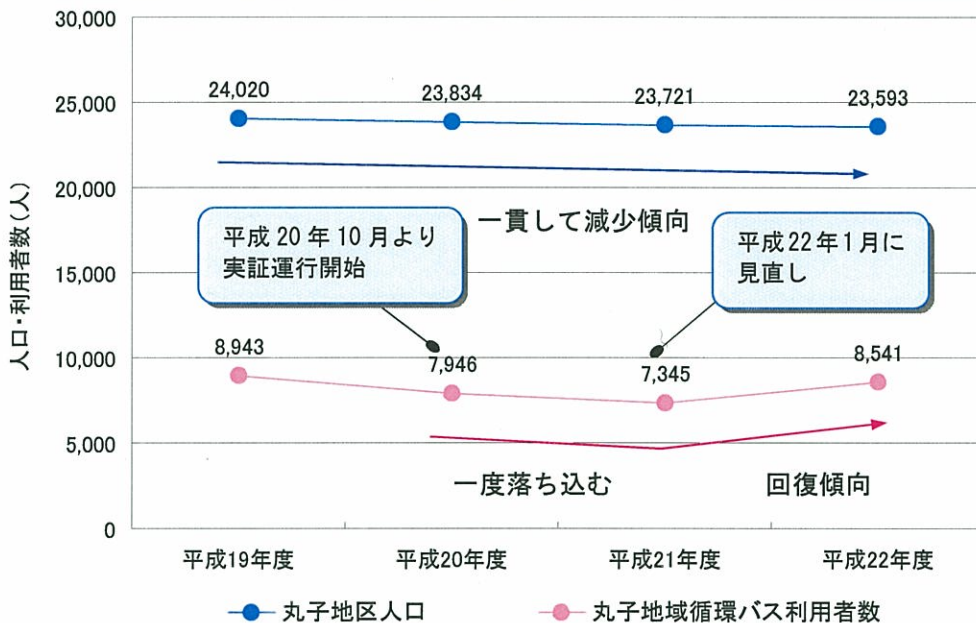
【市街地循環バス】

- 上田地区の人口は平成 19 年度から一貫して減少傾向である。一方、市街地循環バスの利用者数は実証運行が始まって以来、平成 21 年度利用数は減少したものの、平成 22 年度は増加に転じている。
- 増加に転じた理由として考えられることは、実証運行当初より満足度が向上していることから、ダイナミックに変更した運行方法が浸透してきたことが考えられる。(⇒報告書 p6 参照)



【丸子地域循環バス】

- 丸子地区の人口は平成 19 年度以来一貫して減少している。一方、循環バスの利用者数は平成 21 年度までは利用者数が減少したが、平成 22 年度には平成 19 年度に迫るまでに回復した。
- 増加に転じた理由として考えられることは、平成 22 年 1 月よりルートの変更と 2 便増便をしたことにより、利便性が向上し、利用者数が増加したと考えられる。また、満足度も上昇傾向であり、不満との回答が少なくなってきた。(⇒報告書 p 20 参照)



※ 人口は「上田市住民基本台帳人口（各年 10 月 1 日現在）」